

Phonanza アピール文書 WCSC35

開発者 ペンギンクミマヌ

2025年3月28日 作成

プログラム情報

プログラム名:Phonanza

プログラム名の由来: 歴史に名を刻んだあのソフトをリスペクトして名付けた。あのソフトのようにトップに君臨し、将来的に将棋AIの大会で四冠を目指すつもりである。

使用ライブラリ: nnue-pytorch、やねうら王、cshogi,dlshogi

採用している手法: DL系モデルによるNNUEの学習データの評価値付け替え

探索部:やねうら王

コメント

WCSC34以後より、NNUE系評価関数の作成を開始しました。nnue-pytorchによる学習、評価値付け替えといったnodchipさんの工夫を全面的に取り入れ開発しています。アピール文書作成時点において、振電3(振り飛車党)に勝率9割以上を叩き出す強い評価関数ができたはずだった...floodgateに参加したところ、レートが3700しかなく振電3キラーでしかなかったことが判明し、WCSC35までにどのような改良を施すか苦慮しているところです。

またWCSC34の時は定跡を搭載しても、それを生かせる評価関数がなかったので、搭載を見送っていたのだが、今大会は定跡を搭載予定です。

参考文献

- ・ [nnue-pytorchの環境構築\(将棋AI評価関数学習器\) - select766's diary](#)
- ・ [やねうら王Wiki](#)

開発者情報

開発者名: ペンギンクミマヌ (本名) 山下公誠

SNS: [YouTube](#) [X](#) [note](#)